

施策番号	1121		
施策名	だれもがずっとくらし続けたいくなるすまい・まちづくり		
概要	まちや住宅の安全性・地域性・歴史性等に配慮しながら、市民、事業者等との協働により、良質な住宅、住環境を整備し、多様な世代が共生するまちを実現する。		
担当局	都市計画局	共管局	保健福祉局
上位政策	112 すべてのひとがいきいきと活動する		

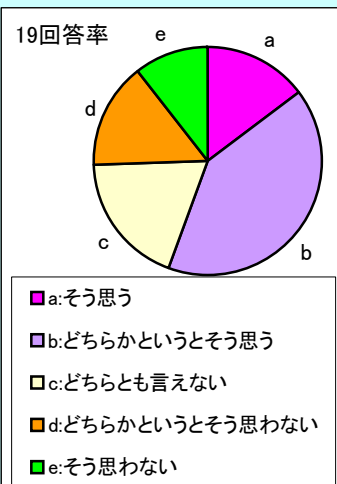
施策の評価

1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 市民一人あたりの住宅床面積 (㎡)	a	a	28.5	33	33	100.0%	a
2 バリアフリー化された住宅の割合 (%)	e	e	42.1	40.1	55.5	72.3%	e
3 完了検査済証の交付率 (%)	c	c	57.0	63.7	100.0	63.7%	b
4 実体違反建築物件数 (件)	b	d	176	193	157	81.4%	c
5 建築協定区画数 (区画)	d	d	5850	5915	5900	100.3%	c
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	c	c	客観指標総合評価				c

2 市民生活実感評価

設問	今住んでいる住宅や周りの環境には満足している。						
	回答	17		18		19	
		回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
	a: そう思う	113	21.2%	88	16.3%	70	14.7%
	b: どちらかというと思う	187	35.2%	194	35.9%	194	40.8%
	c: どちらとも言えない	107	20.1%	103	19.0%	90	18.9%
	d: どちらかというと思わない	77	14.5%	104	19.2%	72	15.1%
	e: そう思わない	48	9.0%	52	9.6%	50	10.5%
	有効回答数	532		541		476	
	市民生活実感評価	b		c		b	



* この評価は、毎年5月頃を実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	c	c	c
市民生活実感評価	b	c	b
総合評価	B	C	B
重み付け	(理由)		
<input type="checkbox"/> 客観指標	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	施策の目的は、市民の住環境への満足度を高めることにあり、今住んでいる住宅や周りの環境には満足しているという市民の実感が重視されるべきと考えるため。	

4 原因分析・今後の方向性

総合評価は、C評価からB評価に上がった。これは市民生活実感評価がc評価からb評価となったことによる。

本市においては、昨年度から、中間検査合格後の建築物を対象とした完了パトロールを実施し、また、中間検査に合格した個人住宅に対して完了検査受検案内を発送するなど、完了検査済証の交付率の向上に努めている。また、違反建築物の早期発見・早期是正に向け、建築パトロールの実施等を行うとともに、指定確認検査機関に対して、建築確認・検査に当たって違反が予見される場合は、本市に報告するよう通知している。建築協定の区画数については、今後、大規模住宅開発地の建築協定が更新時期を迎えるにあたり、市民とのパートナーシップを図りながら、合意率を下げずに円滑な更新ができるよう既存建築協定地区のマネジメントに努め、良質な住宅、住環境の維持・整備に積極的に取り組んでいく。また、市民一人あたりの住宅床面積は増加しているものの、バリアフリー化された住宅の割合は減少傾向にある。今後も本施策充実のため、引き続き事業を行っていく。

(参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	鴨川陶化橋上流域環境整備事業	4,731	4,731	現状のまま継続等	総合企画局プロジェクト推進室
2	みやこユニバーサルデザインの推進	33,186	30,882	充実	保健福祉局 保健福祉部 保健福祉総務課
3	いきいきハウジングリフォーム	77,003	60,781	現状のまま継続等	保健福祉局保健福祉部障害企画課
4	北山ふれあいセンター（仮称）整備助成	93,015	418,930	充実	保健福祉局保健福祉部障害企画課
5	京都市醍醐交流会館	65,984	64,831	現状のまま継続等	都市計画局都市企画部都市総務課
6	建築協定連絡協議会	13,512	13,412	現状のまま継続等	都市計画局建築指導部指導課
7	検査向上・違反指導	233,616	233,616	充実	都市計画局建築指導部審査課、監察課
8	安心すまいづくり推進事業	93,686	93,686	現状のまま継続等	都市計画局住宅室住宅政策課
9	分譲マンション管理支援事業	12,067	13,731	充実	都市計画局住宅室住宅政策課
10	向島学生センター運営経費等補助金・貸付金	1,230,013	1,230,038	現状のまま継続等	都市計画局住宅室住宅政策課
11	コープ・ミール花園建設資金貸付金	91,389	88,793	現状のまま継続等	都市計画局住宅室住宅政策課
12	特定優良賃貸住宅供給促進事業	1,265,079	1,387,692	現状のまま継続等	都市計画局住宅室住宅政策課

13	久我の杜シニア住宅建設事業	21,021	20,885	現状のまま継続等	都市計画局住宅室 住宅政策課
14	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	178,855	193,569	現状のまま継続等	都市計画局住宅室 住宅政策課
15	京都市あんぜん住宅改善資金融資制度	480,546	578,409	現状のまま継続等	都市計画局住宅室 住宅政策課
16	改良住宅等住宅資金等融資事業	78,196	328,030	現状のまま継続等	都市計画局住宅室 住宅政策課
17	木造住宅耐震改修促進助成事業	15,555	10,778	充実	都市計画局住宅室 住宅政策課
18	京町家再生賃貸住宅制度	13,782	13,782	現状のまま継続等	都市計画局住宅室 住宅政策課
19	京北フォレストタウン整備事業	11,804	11,804	現状のまま継続等	都市計画局住宅室 住宅政策課
20	住宅審議会	17,562	26,562	充実	都市計画局住宅室 住宅政策課
21	公営住宅	3,190,179	3,029,948	効率化等による見直し	都市計画局住宅室 住宅政策課
22	改良住宅	1,317,438	1,207,186	効率化等による見直し	都市計画局住宅室 住宅政策課
23	住宅地区改良事業	1,612,495	1,672,505	現状のまま継続等	都市計画局住宅室 すまいまちづくり 課
24	改良住宅等改善事業	1,703,660	709,223	現状のまま継続等	都市計画局住宅室 すまいまちづくり 課, 住宅政策課
25	住宅市街地総合整備事業 (旧 密集住宅市街地整備促進事業)	422,410	304,471	現状のまま継続等	都市計画局住宅室 すまいまちづくり 課
26	公営住宅建設事業	2,520,397	760,773	現状のまま継続等	都市計画局住宅室 すまいまちづくり 課
27	土木工事の検査	84,907	77,058	現状のまま継続等	建設局管理部監理 検査課
合計		14,882,086	12,586,105		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		14,882,086 (0)	12,586,105 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1121	だれもがずっとくらし続けたいくなるすまい・まちづくり
-----	------	----------------------------

指標名	市民一人あたりの住宅床面積 (㎡)
-----	-------------------

担当課	住宅政策課	連絡先	2 2 2 - 3 6 6 6
-----	-------	-----	-----------------

1 指標の説明

住宅の床面積の合計（1住宅当たり延面積に住宅数を掛け合わせたもの）を市民の総数で除したもの

2 指標の意味

京都市の住宅ストック全体の質を示す指標

3 算出方法・出典等

京都市内の住宅の床面積の合計（1住宅当たり延面積に住宅数を掛け合わせたもの）を市民の総数で除したもの
出典：総務省「住宅土地統計調査」

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	10年度	15年度		数値	根拠	達成度
数値	28.5	33	4.5㎡の増	33	現在の各世帯が誘導居住面積水準を確保した場合の一人当たりの住宅床面積	100.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

前回調査と比較して
a：過去最大の増加
b：増加
c：同水準
d：減少
e：過去最大の減少幅

6 基準説明

京都市におけるこれまでの増減の状況と比較することとする。

7 評価結果

17	18	19
a	a	a

指標名	バリアフリー化された住宅の割合 (%)
-----	---------------------

担当課	住宅政策課	連絡先	2 2 2 - 3 6 6 6
-----	-------	-----	-----------------

1 指標の説明

手すりの設置、段差の無い室内、車椅子が通行できる廊下や開口部等、何らかのバリアフリー化を行った住宅の全住宅に占める割合

2 指標の意味

高齢者や障害を持つひとが安心して暮らすことのできる住宅の整備状況を示す指標

3 算出方法・出典等

京都市内の住宅において何らかのバリアフリー化を行った住宅の全住宅に占める割合
出典：総務省「住宅土地統計調査」

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	10年度	15年度		数値	根拠	達成度
数値	42.1	40.1	2.0ポイントの減	55.5	中長期目標を達成するための単年度上昇率（1.49%）	72.3%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	7位(政令指定都)	60%	22年度	66.80%	京都市住宅マスタープランに提示

備考	-
----	---

5 評価基準

前回調査と比較して
a：7.45%以上の上昇
b：5%以上7.45%未満の上昇
c：2.5%以上5%未満の上昇
d：0%以上2.5%未満の上昇
e：低下

6 基準説明

調査開始時の平成10年度が42.1%で、平成22年度に60%となることが中期目標であるから、前回調査と比較して、毎年1.49%（5年ごとに7.45%）上昇することを短期目標とする。

7 評価結果

17	18	19
e	e	e

施策名	1121	だれもがずっとくらし続けたくなるすまい・まちづくり
-----	------	---------------------------

指標名	完了検査済証の交付率（％）	
-----	---------------	--

担当課	建築審査課， 建築監察課	連絡先	222-3616, 3613
-----	--------------	-----	----------------

1 指標の説明
 確認済証を交付した建築物に対する完了検査の検査済証を交付した割合

2 指標の意味
 確認済証の交付を受けて工事を行った建築物で建築基準法に適合している割合を示す指標

3 算出方法・出典等
 完了検査済証発行件数÷確認済証発行件数×100

4 数値	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	57.0	63.7	6.7ポイント増	100.0	完了検査は受検しなければならないものであるため、目標値は100%とする。	63.7%

5 評価基準	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	-

6 基準説明
 単年度目標に対する達成度が
 a：80%以上100%達成
 b：60%以上80%未満達成
 c：40%以上60%未満達成
 d：20%以上40%未満達成
 e：0%以上20%未満達成

目標値を最高のaとし，以下20%刻みで設定した。

7 評価結果		
17	18	19
c	c	b

指標名	実体違反建築物件数（件）	
-----	--------------	--

担当課	建築監察課	連絡先	222-3613
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明
 建築基準法違反による指導を行った建築物のうち，実体的な違反を伴う建築物の件数

2 指標の意味
 実体違反建築物件数の増減により，京都市全体の建築活動等における建築基準法順守の動向を推測する指標

3 算出方法・出典等
 当該年度に発見し指導を行った実体違反建築物の件数の年間集計
 出典：事業担当課事務処理統計

4 数値	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	176	193	17件増	157	平成15年度から17年度にいたる変動率の平均(88.76%)に前年度の実績を乗じて設定 達成率は，単年度目標値÷当該年度実績値×100	81.4%

5 評価基準	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	-

6 基準説明
 単年度目標に対する達成度が
 a：100%超える
 b：100%以下90%超える
 c：90%以下80%超える
 d：80%以下70%超える
 e：70%以下

対象件数は毎年変動するものであり，前3年間の変動率の平均による目標値を設定し，達成度が100%を超えた場合を最高とし，以下10%刻みで評価する。

7 評価結果		
17	18	19
b	d	c

施策名	1121	だれもがずっとくらし続けたいくなるすまい・まちづくり
-----	------	----------------------------

指標名	建築協定区画数（区画）
-----	-------------

担当課	建築指導課	連絡先	2 2 2 - 3 6 2 0
-----	-------	-----	-----------------

1 指標の説明
 建築協定区域内の区画数の合計

2 指標の意味 建築協定は、住民の主體的なまちづくりにより、良好なまちを形成していくものであり、区画数の合計は「良好なまちづくり」の普及度を表している。	3 算出方法・出典等 認可時点での区画数を申請書に添付される区域図及び合意者数等から算出
--	--

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	5850	5915	65区画増	5900	過去5年間の区画数の増減の推移	100.3%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	-	-	-	-

備考	13年度 5469 14年度 5726 15年度 5746 16年度 5784
----	--

5 評価基準 単年度目標に対する達成度が a：104%を超える b：102%以上104%未満 c：100%以上102%未満 d：98%以上100%未満 e：98%未満	6 基準説明 過去32年の傾向から漸増傾向にあったが、今後、建築協定を活用しやすい大規模団地の開発は少なくなると考えられるため、この状況から目標値達成をCとし、上下2%刻みで段階区分を設定した。
--	---

7 評価結果

17	18	19
d	d	c